

NPO法人 熊本まちなみトラスト
第39回理事会(200323)出欠表(実績)

氏名	理事会 200323 出欠	出席 人数	委任 出席 人数
1 青木勝士	○		
2 麻生田栄壽	○		
3 伊藤重剛	○		
4 磯田桂史	○		
5 磯田節子	○		
6 岡裕二			
7 工藤栄一郎	× 理事長		
8 幸田亮一	× 事務局長		
9 西郷正浩	× 理事長		
10 柴田祐			
11 竹田宏司	○		
12 田中尚人			
13 鄭 一止(いるじ)	○		
14 辻 泰明			
15 豊永信博	○		
16 長野聖二			
17 西嶋公一			
18 富士川一裕	○		
19 藤本秀子			
20 松波大仁	○		
21 宮野桂輔			
22 宮本茂史			
23 矢野和之	× 理事長		
24 山田穰	○		
25 吉野徹朗			
1 荒木幸介			
2 齊藤修			
会員(コア会員)			
1 本田憲之助			
2 森 純子			
3 両角光男			
4 上野美恵子			
5 上農淑子			
6 清水照親			
7 坂口秀二			
8 西島衛治			
9 西島真理子			
10 早川祐三			
11 松崎範子			
12 清永泰弘			
13 古賀元也			
14 濱田康成			
15 中田浩毅			
16 東久美子			
17 伊原登志郎			
18 石原靖也			
19 佐々木翔多			
20 反後人美			
21 三國隆昌	○		
22 池田由美			
23 黒瀬商店			
24 田中達俊	○		
25 原野利一			
26 高田真人			
27 平山武久			
28 平山偵久			
29 中島淑子			
30 村上亜紀			
31 後藤環			
32 坂井亮太			
33 石橋雅子			
34 熊本ビル部			
35 加瀬島正剛			
36 田上裕			
37 古賀輝	○	※	

◆議決事項(本日の検討事項)

- 1 諸規定方針 当資料P4
- 2 2019年度決算方針 当資料P8
- 3 財政部会行動計画 当資料P10
- 4 次年度役員改選について(審議)

本日の会議の進め方

- 1 前回例会/理事会の振り返り
- 2 議案1 諸規定方針
- 3 議案2 2019決算方針
- 4 議案3 財政部会行動計画

前回理事会からの活動経過
3/21復旧報告会 報告

◆前回(2/25)例会以降の経過

KMT事務局会議【富士川・松波・菊池】

2/26、3/4、3/11、3/18の4回

被連協清永部会(回)【磯田桂史・富士川】

2/26(116)～3/17(119)の4回

3/13:文化財補助金竣工検査 関連資料

3/18:グループ補助金竣工検査 当資料P12

3月

1日(日) 日本建築学会九州支部研究発表会【中止】

2日(月) 第2回財政部会 @熊パレア

14日(土) イコモス賞授賞式 @東京文化財研究所【中止】

21日(土) 熊本地震からの文化遺産復旧報告会

@PSオランジュリ 当資料P18

今後の主なイベント等の予定

4月

27日(月)18時30分～ ★4月例会(直前理事会)

広報誌第2号(3月までの活動を4月に編集し)5/1に発行

5月

16日(土)《仮》★KMT年次総会

※白石様同伴予定

(+委任状出席4=15>理事総数25×1/2

理事 11
会員 4
合計出席者 15

事務局員本日欠席1

NPO法人熊本まちなみトラスト 例会／第38回理事会議事録

- 日時 2020年2月25日(火)18:30～20:30
- 場所 パレア9階 第3会議室
- 参加者 理事8人(委任出席を含まず)、会員1人、事務局1人 計10人
委任状出席=9人を加えた理事出席者数17人(理事総数25人中) …定足数満足

1. 議決事項

議決事項1

資料 P3 3/21 復興イベントの実施

(主な意見)

【3月理事会 注】

→本日資料に記録掲載

- ①コロナウイルス新型肺炎は3月に流行ピークになるかもしれない。慎重を期して中止、延期すべきではないか
- ②感染拡大に過剰に反応せず、冷静に対応しよう
- ③参加者は30人～多くとも50人。全員の連絡先が把握できる規模

(決議)

- ①予定通り実施する。

(附帯事項)

- ①申込み時に連絡先を聞き、直前に中止の連絡がとれる体制、事後感染(陽性反応)が出た参加者はすぐに連絡していただき他の参加者全員に知らせる体制をとる。
- ②会場にマスクと消毒液を準備する。
- ③チラシに参加申込み要請を入れる。

議決事項2

資料 P6～10 2020年度(第4期)事業計画

(主な意見)

【3月理事会 注】

前は「予算」についてだったが
→本日は「決算」について審議

- ①「出前講座」は、他団体との共催か→前年度は共催だったが今年度は自主事業とする。
- ②他団体との連携
 - ・新町古町地区の住民や地元団体から(熊本まちなみトラストが)どう受け止められているのか、気をつける必要がある。相互理解を強める。
 - ・歴まち計画とのかかわりをチャンスとしてとらえ、他団体や行政との連携を強める。
 - ・地域団体とは異なる中間組織としての当会の独自性も明確になるのではないかと。
 - ・具体的には1)他団体との協議の場を設ける2)「共同事業」を実施する。
 - ・その意味から「明八橋イベント」はよかったし継続させるべき。
 - ・他団体を当会の協力団体として文書化し、お互いの総会に参列する。
- ③実測調査などみんなで参加できる事業も盛り込みたい。

(決議)

- ①P6-7の事業計画承認
- ②P8-9 事業予算
 - 支出の部②-5 宇城三角地区の・・・支援 →(変更)→ 他地域の・・・支援
 - 他にも小川、高瀬、川尻、西原など連携イベントの可能性もあるので
 - ②-3を30,000、②-5を60,000に変更
- ③P10の「申請する事業の収支計画」承認

【3月理事会 注】
 財政部会①(2/17)
 2月理事会報告(左記意見)
 →財政部会②(3/2)・・・を報告(資料)し審議

議決事項 3

資料 P11-12 法人会員への支援お願い

(主な意見)

- ①お願いする内容が不明確であり理事の間でも食い違いがある。
- ②当会を維持していくために支援をお願いするのか、事業実施のために支援(寄附)してほしいのか。
- ③前者であれば法人会員になっていただきたいということなのだが、それには当会のミッションを共有していただくための説得性が必要。

(決議)

- ①支援お願い書を以下のような点に留意し、財政部会で引き続き検討する。
 - 1) タイトル 一目でわかるように工夫・・・「ご支援のお願い」よりも「お誘い」という意見も
 - 2) 「貴社の品格・・・」のくだり・・・少し押し付けがましい、「企業価値の向上」はどうか
 - 3) 全体を極力短くする
- ②豊永部会長の責任編集とする

2. 報告事項、その他

(1)5月の総会イベント

- ①ミニ・コンサートなど楽しい催しを取り入れたい
- ②間に合えば、文化遺産ネット協議会(仮称)の立ち上げ(設立総会)
- ③カーリー・PSの合同イベントという2019年総会イベント(シンポジウム)を受けたイベント

(2)その他

- ①今回初参加の 古賀輝さん 自己紹介。入会希望。
- ②本山の長屋(物納物件)をリノベーションして使ってくれる人に売却したいので具体的方法を探求中
- ③サンカドライブはいつ? 4月29日(昭和の日)。

(3)熊日記事の使用

三國さんに相談 申請の仕方も

【3月理事会 注】
 次年度活動方針と関連するが
 連携を強めようとする機関を来賓として招いては
 どうか

【3月理事会 注】
 次年度は役員改選
 役員改選の方法等について審議いただきたい

議長 署名 印
 議事録署名人 署名 印
 議事録署名人 署名 印 が必要★定款第 37 条

1. アルバイト人件費規定

- ①以下の3種に対して、単価を定める
- ②種別：1) 常勤アルバイト、2) イベント時などの臨時アルバイト、3) ボラバイト
- ③ 1),2) :時給 1000 円、3) :1回 1000 円(交通費・昼食代相当)

※理事会決定した用件に限り規定を適用する。

ただし、緊急の場合理事長の同意を得て事務局長が支払い命令書を発する。

2. 旅費規程

- ①理事会決定した用件に限り規定を適用する。

ただし、緊急の場合理事長の同意を得て
事務局長が支払い命令書を発する。

【支払命令書は別添参照】

- ②公共交通機関利用の場合・・・実費精算

- ③自家用車使用の場合のガソリン代

30 円/km で清算する。

(右表参照)

自家用車使用ガソリン代		170530メモ
燃費	7 km/l	
ガソリン代単価	140 円/l	
km当り燃費	20 円/km	
↓		
諸経費入れて	30 円/km	①
	とする	
検証		
ケース		
県庁(往復10Km)	10 Km	②
清算金	300 円	①×②

3. 家賃算定基礎 等

- ①現在、支払い可能であれば月 5 万円(株)人間都市研究所に支払っている(理事会決定)が、
内訳を精査し、(事務所の移転独立等)将来の運営に備える。

- ②内訳は、ほぼ以下の通り

水光熱費：電気、冬場の灯油代	：	月平均	10,879 円
通信費：電話・インターネット接続費	：	月平均	17,983 円
コピーメンテ費・コピー紙	：	月平均	21,694 円
消耗品費	：	月平均	1,324 円
固定資産税	：	月平均	5,074 円
		合計	56,953 円

※月 50,000 円を可能であれば支払う

- ③2019 年度の処理

- 1) 年間 60 万円の支出は行う
- 2) 但し、運営費(運転資金)が不足となるので、実質 30 万円とし 30 万円は寄附として受け取る

2020年 アルバイト代等の清算
2月

日	曜日	作業時刻	時間	備考1
3	月	13-17	4	
4	火	17-20:30	3.5	出前講座
5	水	10-17(昼食1時間休憩)	6	
10	月	10-17(昼食1時間休憩)	6	
12	水	10-17(昼食1時間休憩)	6	
17	月	10-17(昼食1時間休憩)	6	
19	水	10-17(昼食1時間休憩)	6	
24	月	天皇誕生日振替休日	0	
25	火	13-20.5(昼食1時間休憩)	7.5	理事会
26	水	10-17(昼食1時間休憩)	6	
計			51	時間単価=¥1000

1月アルバイト料支払額 : ¥ 51,000

4	火	出前講座 PS	162	2.7km × 2
19	火	法務局(履歴全部証明書)	180	3km × 2
合計			342	

総計 51,342

上記、支払を命じます。

NPO法人 熊本まちなみトラスト
事務局長 富士川一裕



請求書

熊本まちなみトラスト 様

金額 金 51342円也

但 アルバイト代

日付 2020(令和2)年3月2日

住所 熊本市西区花園3-14-63

氏名 菊池郁美

領収書

熊本まちなみトラスト 様

金額 金51342円也

但 アルバイト代

上記正に領収いたしました。

日付 2020(令和2)年3月2日

住所 熊本市西区花園3-14-63

氏名 菊池郁美

2020年 ボラバイト代交通費の清算
2月

富士川一裕

日	曜日	作業時刻	金額	備考1
5	水	10-12	1000	
12	水	10-12	1000	
19	水	10-12	1000	
26	水	10-12	1000	
計			4000	

2月ボラバイト料支払額 : ¥ 4,000

松波大仁

日	曜日	作業時刻	金額	備考1
5	水	10-12	1000	
12	水	10-12	1000	
19	水	10-12	1000	
26	水	10-12	1000	
計			4000	

2月ボラバイト料支払額 : ¥ 4,000

総計 ¥ 8,000

上記、支払を命じます。

NPO法人 熊本まちなみトラスト
事務局長 富士川一裕 (印)

請求書

請求日付	2020年2月28日
請求者	富士川一裕
請求金額	5,494 円

金額の根拠		領収書番号/費目	金額	使途
200210	1	郵送料	370	レターパック
200217	2	駐車料金	700	市役所駐車場
200219	3	印紙代	600	登記簿謄本
200225	4	駐車料金	800	上通駐車場
200225	5	会議室使用料	2,420	3/23例会前払い
200226	6	郵送料	604	レターパック等
合 計			5,494	

領収書


熊本まちなみトラスト 様

金額 5,494円

但 立替払い (2月5月28日請求分)

上記正に領収いたしました。

日付 2020 (令和2) 年 3 月 2 日

氏名 富士川一裕 

2019年5月総会議決の予算書を比較する

予算 → 決算

KMT(NPO 法人熊本まちなみトラスト) 第3期(2019年度)事業予算

【収入の部】		金額	備考
受取会費			
正会員		300,000	
賛助会員		10,000	
受取寄付金			
個人		50,000	
企業		1,000,000	
助成金			
WMF財団		2,000,000	確定
HC財団		1,100,000	確定
地域共生財団		1,500,000	未確定
小計		5,960,000	
		1,460,000	
		資金不足	
		A - B = Δ1,773,004	
前期繰越金			
負債(借入金)		Δ 1,000,000	
前期残余金		1,486,996	
			A
			1,946,996
計		6,446,996	

【支出の部】		2019(令和元)年度事業	事業費
定款第5条(1) 特定非営利活動に係る事業(事業費)			
① 歴史文化遺産の顕彰事業			
①-1 魚屋町旧銀行社屋跡の活用シンポ等		運搬費、謝金等	100,000
①-2 明八橋新町古町復興まちづくりイベント(2回)	600,000	委託費、アルバイト交通費等	500,000
② 歴史文化遺産の保存・活用を促進するための事業			
②-1 WMFの助成による復旧工事費の支援(清永本店、PS最終)		復旧費補助金、振込手数料等	2,200,000
②-2 被連協の改組(アンケート調査等)		調査費、郵送料、資料代、交通費等	300,000
②-3 旧住友銀行熊本支店社屋の保存活用(WS等)		資料代、交通費等	100,000
②-4 新町古町歴史を活かしたまちづくり支援(県大GP事業等)		資料代、交通費等	100,000
②-5 宇城市三角地区の歴史を活かしたまちづくり支援	3,000,000	資料代、交通費等	300,000
③ 歴史文化遺産の顕彰・保存・活用に関する広報・出版事業			
③-1 ホームページ、facebook、twitterの運営		HP運営費(外注)等	50,000
③-2 KMTの活動アーカイブの作成		コピー印刷代	120,000
③-3 被連協を中心に新町古町の復興アーカイブの作成		調査費、会議費、コピー代等	300,000
③-4 ドローンを使った画像記録の制作		ドローン維持管理費等	50,000
③-5 他都市の交流会等への参加	720,000	町並みゼミ参加費・交通費等	200,000
④ 歴史文化遺産を活用した不動産事業			
2019年度は無し			
⑤ 歴史文化遺産活用のための物品販売・サービス事業			
2019年度は無し			
⑥ その他当法人の目的を達成するために必要な事業			
2019年度は無し			
		-4,320,000	2,120,000
事業費			
一般管理費			
1) 家賃		水光熱費、コピー機使用料等含む	600,000
2) アルバイト人件費		前年: 601,500	700,000
3) 消耗品費等		前年: 約480,000	300,000
		1,600,000	
計		5,920,000	5,920,000
			B 3,720,000
一般管理費			

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	313,000	
賛助会員受取会費	47,000	360,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金※1	1,349,000	1,349,000
3. 受取助成金等		
受取民間助成金 ※2	1,100,000	1,100,000
4. 事業収益		
A事業収益(被災2周年イベント)	57,550	
B事業収益(被連協支援)	0	
C事業収益(新町古町・歴史的建造物)	0	
D事業収益(記録の作成)	0	
E事業収益(三角地区)	8,000	65,550
5. その他収益		
受取利息	7	7
経常収益計		2,874,557
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
臨時雇い賃金	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	403,250	
修繕費	0	
旅費交通費	107,400	
消耗品費	5,372	
通信運搬費	35,317	
雑費	109,048	
支払手数料	816	
研修費	0	
修復支援金(WMF)	0	
外注費	143,000	
調査費	800	
租税公課	3,000	
イベントバイト代	97,000	
会議費	4,520	
謝金	40,000	
その他経費計	949,523	
事業費計		949,523
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	570,000	
役員報酬	0	
法定福利費	0	
人件費計	570,000	
(2) その他経費		
旅費交通費	113,050	
通信運搬費	26,841	
印刷製本費	39,400	
消耗品費	9,819	
機材費	0	
会場費	7,010	
地代家賃※3	600,000	
外注費	81,000	
会議費	30,060	
雑費	5,680	
諸会費	10,000	
租税公課	600	
支払手数料	12,021	
その他の経費計	935,481	
管理費計		1,505,481
経常費用計		2,455,004
当期正味財産増減額		419,553
前期繰越正味財産額	9	400,292
次期繰越正味財産額		819,845

今月中に確定

※1 寄附金
任意団体トラスト1,000,000
人間都市300,000
を含む
※2: HC財団

チラシ、広報誌
講師旅費等
イベント景品等
イベント

事業費

一般管理費

HC財団交流会参加

※3 地代家賃
人間都市へ

日本ICOMOS

財政部会報告

2020年3月2日（月）19：00～20：20@パレア

出席者：豊永、麻生田、伊藤、田中、青木、松波（記録）

企業向け勧誘文について

豊永氏からこれまでの富士川原案、青木修正案、竹田修正案を踏まえた文案が提示され、下記の論点を検討したうえで、豊永氏に最終文案の作成が依頼された。

- 1) KMTが目指す姿を、簡潔に説明すること。
- 2) 文化遺産など、用語の統一性を図ること。
- 3) 支援願いというよりは、法人にも活動に参加するよう勧誘するという論調にすること。
- 4) 法人向けの文書としての体裁を整えること。

実際の勧誘活動について

勧誘文案を次回の定例会に提案するにあたって、実際の加入活動の方針も提案すべきという合意のもと下記の議論がなされた。

- 1) 新町古町から始めよという議論があったが、それでは縁故を頼った活動になってしまうのではないかと。
- 2) これまでのKMTに不足していたのは広い認知、特に行政が信頼して選択できるような社会的認知である。これはまた、法人会員の勧誘についても弱点となりうる。
- 3) 公的な認知を高めるためには、これまでの関係から考えて、商工会議所との公式な連携を図るのが早道ではないか。できれば商工会議所内に専門部会を設置してもらうようなところまで取り組んでもらえれば、市役所として指名の後押しになるだろうし、法人勧誘にも有効である。

結論： 次回の定例会に勧誘文と併せて、商工会議所に対する公式の提携推進活動を推進することを提言する。

次回： 次回の定例会での議論を受けて、開催日を決定する。

以上

NPO法人熊本まちなみトラストへのご参加・ご支援のお願い

NPO法人熊本まちなみトラスト 理事長 伊藤重剛

貴社におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

私たちNPO法人熊本まちなみトラストは、郷土熊本の人々が育み培ってきた歴史的建物、そして熊本のまちなみ等文化遺産を、守り活かす活動を30年間にわたり続けてきました。

熊本地震以前は任意団体として活動してきましたが、震災後はNPO法人となり、文化遺産所有者の方々に寄り添いながら、復旧を支援することで、故郷の原風景を護る活動を行ってまいりました。

震災復興の兆しが見え始めた今、私達は未来に向けて、熊本の貴重な文化遺産を今後末永く後世に伝えていきたいと考えています。その活動の持続性の担保と活動の強化のため、このたび熊本で企業活動を行っておられる皆様にも、下記の内容で法人会員としての入会をご案内いたします。

記

一口1万円の年会費で法人会員様を募ります。(1社複数口加入可)。

当会の活動にご賛同いただき会員になられた法人様には、

- ① 法人会員様の企業紹介をホームページと広報誌に掲載
- ② 年2回発行予定の広報誌を送付
- ③ 年1回の総会・交流会へ社員様・ご家族様をご招待
- ④ 年数回開催する学習会・交流会・見学会へ社員様・ご家族をご招待をさせていただきます。

本会の郷土熊本の文化遺産を守り活かす活動は、SDGsの目標11「包括的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する」を推進する活動でもあり、法人会員様の企業イメージの向上にも資するものと考えます。

是非、私達の活動の趣旨をご理解いただき、本会にご参加、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴社の今後のますますのご発展と社員の皆様のご活躍を心から祈念いたします。

令和2年(2020年)2月17日



西（細工町側）外観



東（心光寺路地側）外観

清永本店震災復旧工事 竣工写真

母屋のみ

【工事前】

【工事後】

1. 屋根



2. 外壁



西面（細工町側）

【工事前】

【工事後】



北面（唐人町通り）



東面（心光寺路地）



南面（中庭側）

【工事前】

【工事後】

3. 1階座敷



2018年9月8日
連日の雨で天井裏に積もった土が水を吸い、その重みで天井崩落

4. 2階座敷



【工事前】

【工事後】

5. 仏間



渡廊下



本震の翌日 4/17



7/3 隣接地町屋解体

清永本店



復旧工事現場 2018. 11/30



NHKニュースセンター9「熊本地震1年」

WMF支援決定 2017年8月 KMT契約
ワールド・モニュメント・ファンド



2020年3月竣工

@PS オランジュリ 被災文化遺産復旧報告会 記録

日時：2020（令和2）年3月21日（土）14:00～16:00

場所：PS オランジュリ

参加者：総数34人（コロナウイルス感染予防のため基本的には「無観客イベント」とした）

講演者6人／熊本まちなみトラストスタッフ15人／付近の住民の方等7人／報道機関6人

開会・主旨説明（伊藤重剛）

この報告会は、ワールドモニュメント財団（WMF）から支援をいただいた5つの被災文化遺産の復旧工事が3月に完成した記念として行うものです。支援いただいたWMFへのお礼とともに市民みなさんでお祝いをしようという目的で開催します。WMF日本代表の稲垣様も参加予定でしたが、NY本部からの指示で出張ができなくなりましたので本日はインターネット中継での参加となります。



代表者謝辞（清永幸男）

熊本地震の次の年（2017年）の暮れに工費解体の取下げをするまでの1年8ヶ月の間、いろんな方のお世話になり解体せずに復旧する方法を検討しました。その猶予期間、考える時間を持つことができましたのは、ワールドモニュメント財団をはじめとする支援があったからに外なりません。支援の内容が明らかになるにつれて解体ではなく復旧に舵を切ることができました。大変ありがたく感謝申し上げます。ここまで漕ぎつけることができましたのは様々な人たちのご尽力があったからに外なりません。それらの方々の誰一人欠けてもここまで来ることはできなかったと思います。本当にありがとうございました。



復旧工事報告1 ー清永本店（入江雅昭／IGA建築計画）

設計、工事監理にかかわるなかで清永本店の建物の魅力に引きつけられていった。今日はその一端をご紹介します。題して「アレ？なんだ！？コレ？クション」。二本の大黒柱はサクラ材と針葉樹だが、多くの梁にはセンダンの木が使われている。センダンは枝が暴れる木ですので真っ直ぐの材を得るのは難しい。それをふんだんに使って軒裏の小屋組みが組み立てられている。曲がりくねった大きな梁がウナギがのた打ち回るような姿は壮観です。接客空間である座敷は3つありますが、欄間、釘隠、戸板などに鳥の絵が施されています。3つの蔵もなぞが多い。共通して階段は9段上がって踊り場があり3段上がる。（九）工面と（三）算段の謎かけか。



復旧工事報告 2 - 西村邸 (山川満清／ヘリテージ・マネージャー)

西村邸の震災被害は、オモテの土蔵の土壁の崩落と両側の赤煉瓦防火壁に入った亀裂が深刻でした。

赤煉瓦防火壁の亀裂修理はアラミドロッドという特殊な紐を目地に埋め込んで強度を確保するという手法をとりました。崩落した外壁の土壁は中の竹木舞(たけこまい)を作り直しながら修復しました。奥の住居部分も梁が一部はずれたり土壁が崩落したりの被害がありました。ゲストハウスとして造られた建物は、大正時代の職人さんの技が随所に見られる貴重な遺産ですから可能な限り現状復旧をこころがけました。特に「飾り窓」の復旧には時間をかけました。倒壊した中庭の細工を凝らした塀も一度解体して復元し、川に面した庭を支える持ち出し梁も鉄骨で補強しました。



復旧工事報告 3 - ピュアリィ・塩胡椒 (坂井信彦

／風土デザイン建築事務所)

2つ並んだ建物の設計管理を担当しましたので、2つの建物の被災状況や復旧工事を比較しながらご説明します。地震直後の写真を比較すると瓦屋根の崩落で塩胡椒のほうが被害甚大に見える一方、地震前に瓦替えを済ませていたピュアリィは外観からは被害が軽く見えますが柱梁の構造や内壁のダメージは非常に大きかった。ピュアリィの場合、1階(地階の上)と2階に倉庫や厨房などの大きな負荷がかかっている部分の位置を変更することも含めて改修計画を立てました。構造補強には「棧付きパネル式板倉工法」で軽量化と耐震性を確保し、デザインが求められる箇所は「面格子壁」を用いました。このような方式をとった理由は、次に大地震があっても経済的な負担を抑えることにあります。伝統的な真壁造りの中にパネル等の新しい構造が混在することの違和感がありますが、パネルは白木のままにして意図的にそれとわかるようにしました。



復旧工事報告 4 - PS オランジュリ (切通晃二／清水建設)

被害が最も深刻だったのは赤煉瓦の構造壁に亀裂が入ったことです。果たして次の地震にも耐えられる強度が確保できるのか？それに応えるために「壁内鉄筋挿入」という方式をとりました。屋上からコアマシンで直径75mmの穴を開けてその穴の中にD22と呼ばれる鉄筋を挿入しモルタルで埋めるという工法です。外壁にそのような鉄筋モルタルの柱が89本埋め込まれたこととなります。抜いた穴は総延長1kmにもなりますが、縦穴を空け鉄筋を通すのに極めて高い精度が要求されました。さらにこれらの外壁を支える基礎の部分をほぼ全周にわたり鉄筋コンクリートで補強しました。埋めてしまうと何も無かったかのような外観ですが煉瓦の基礎の上に建てられた煉瓦壁は見えないところで大規模な補強がなされてい



ます。構造補強は他にも窓の一部や煉瓦壁に鉄筋コンクリートの構造壁を打ち増したり、床の一部に鉄板を入れたりしています。外壁のタイルに入ったクラック（ヒビ）や内部の崩落した天井の補強も元通りに復旧しました。

講評（稲垣光彦／ワールド・モニュメント財団日本代表）

（ネットを使い東京からメッセージが寄せられた）

熊本地震より早4年。復興でご苦労が多い中、今回ご報告のあったプロジェクトの推進役を果たされた熊本まちなみトラスト、そして熊本市、被災建造物文化遺産所有者の皆さん他多くの地域社会の皆さんが力を合わされ、5件すべての修復が無事終了されましたことをとても嬉しく思います。またWMFと協力パートナーのフリーマン財団を代表して心より敬意を表します。私たちは3年前に城下町全体の復興再生、という高邁な理想目標をたて、今回のプロジェクトをパイロットとして立ち上げました。そのプロジェクトも一定の成果を上げ、保存活動に欠かせないローカル・スチュワードシップが確立された今、震災後も残る地域の文化遺産を大切に思い、何年かかろうとも熊本城下町の再生・復興に向けこれからもともに頑張っていこうではありませんか。WMFもこれからも皆さんとともにできることから頑張っていきたいと思います。本日はWMFに対する感謝のお言葉も皆さんから頂き、本当にありがとうございました。



竣工後のこれから（平山武久／PS(株)社長）

工事の報告を聞いて、見えないところですごい工事がなされていたこと、これからずっとわれわれが建物を使っていくための骨格がこうして出来上がったのだなあとよく分かりました。

地震もあったし今回のコロナウィルスのことも含め、前代未聞の不安が世界中に充満している。PSのこの建物は立ってから今年で101年になるが、これからの100年も、様々な災害に強い屋内環境について語り合える場として使い続けていきたい。

